

金城大学同窓会

《会報誌 第9号》 2015年12月発行号



《同窓会活動報告》

平成27年度役員会 開催報告

《平成27年度 交流パーティー 開催報告》

《各方面で活躍する同窓生》

《同窓会 開催報告》

《大学行事報告》

平成26年度卒業式、平成27年度入学式、新入生歓迎会、
新入生合宿研修、クラブ・同好会代表者研修会、
卒業研究発表会、第40回金城祭

《トピックス》

大学院・看護学部開設、
金城学園110周年記念式典・祝賀会、
公開講座、北國健康生きがい支援事業、
ゆうがく広場／悠遊健康サークル、
第10回保健・医療・福祉創造フォーラム

《研究・教育活動報告》

研究活動成果報告会開催報告、
科学研究費助成事業採択状況 など



同窓会活動報告

平成27年度役員会 開催報告

第1回役員会

平成27年6月13日(土) 10時30分～12時30分

【議題】

前回役員会「平成26年8月30日(土)」
議事録確認

1. 平成27年度役員の改選について

2. 平成26年度事業報告・決算報告について

3. 平成27年度事業計画・予算について

平成27年度 事業計画・予算について、竹内幹事より資料に基づき説明がなされ、今年度は例年の予算に加え、学校法人金城学園創立110周年記念事業に対し100万円を寄付する提案がなされ、全会一致で承認されました。

4. 平成27年度交流パーティーについて

交流パーティーについて、濱田会長より資料に基づき説明がなされ、開催内容等の確認がなされました。また、委員同士の委員と会員とのつながりを強化するためにも、委員から会員への声掛けを中心に参加者を集めることの提案がなされ、全会一致で承認されました。

5. その他

●「同期会開催助成規程」について

同窓生相互の活動を支援するための「同期会開催助成規程」ですが、予算に対し利用率が非常に低く、使い勝手が良くないとの声もあります。

利用しやすい規程に改正するため、次回役員会にて審議することの確認がなされ、全会一致で承認されました。

●第2回役員会開催日

平成27年8月22日(土) 10時30分から第2回役員会を開催することとしました。

第2回役員会

平成27年8月22日(土) 10時30分～12時30分

【議題】

前回役員会「平成27年6月13日(土)」
議事録確認

1. 平成27年度交流パーティーについて

開催内容等の確認と、開催日を毎年金城祭の第一目で固定することの再確認がなされました。濱田会長・上田会計監事より、今後の交流パーティーをさらに盛り上げていくために、会員全体の中から『交流パーティー実行委員会』を発足させてはどうかとの提案がなされ、審議の結果、全会一致で承認されました。

2. その他

●「金城大学社会福祉研究会記念講演」について

金城大学在学学生、卒業生、教員で組織する金城大学社会福祉研究会が開催する記念講演のお知らせを同窓会ホームページに掲載することについて、資料に基づき説明・依頼がなされました。後日ホームページへ掲載することが全会一致で承認されました。

●「同窓会名簿の管理」および「個人情報取扱」について

同窓生同士が連絡を取る際に同窓会名簿の個人情報開示してほしいという要望がある場合、誓約書を求めて開示することになりますが、濱田会長より誓約書なしでも個人情報開示できないかという提案がなされました。同意を得ていない個人情報同窓生に開示することについて検討する必要があるため、同窓会事務局が大学の個人情報保護に関する規程に基づいて同窓生の個人情報の取扱について検討することとなり、全会一致で承認されました。

予算・決算（平成26年度決算・平成27年度予算）

一般会計

(単位:円)

収入の部	平成26年度決算	平成27年度予算
会費	5,100,000	4,400,000
交流パーティー厚志	20,000	—
交流パーティー補助費	230,000	—
利息	860	800
雑費	0	0
前年度繰越金	2,645,006	3,395,200
合計	7,995,866	7,796,000

特別会計

(単位:円)

収入の部	平成26年度決算	平成27年度予算
特別会計繰入金	500,000	500,000
利息	4,590	4,975
前年度繰越金	26,517,435	21,922,025
合計	27,022,025	22,427,000

支出の部	平成26年度決算	平成27年度予算
一般会計繰入金	5,100,000	0
予備費	—	22,427,000
合計	5,100,000	22,427,000

一般会計

(単位:円)

支出の部	平成26年度決算	平成27年度予算
会議費	89,155	200,000
交流パーティー運営費	1,730,452	1,300,000
金城祭補助費	226,420	300,000
会報誌制作費	493,314	600,000
ホームページ制作費	126,000	150,000
通信費	678,721	1,000,000
雑費	106,131	200,000
会費戻金	80,000	200,000
同期会開催助成金	43,500	500,000
事務費負担金	500,000	500,000
特別会計繰入金	500,000	500,000
学園110周年記念寄付金	—	1,000,000
予備費	26,973	1,346,000
合計	4,600,666	7,796,000

※【一般会計】(収入の部)合計7,995,866円－(支出の部)合計4,600,666円＝3,395,200円を次年度繰越金とする。

※【特別会計】(収入の部)合計27,022,025円－(支出の部)合計5,100,000円＝21,922,025円を次年度繰越金とする。

平成27年度 交流パーティー 開催報告

10月24日(土)に、ANAクラウンプラザホテル金沢にて、「平成27年度 金城大学同窓会 交流パーティー」が開催され、卒業生40人、教職員22人の出席がありました。

はじめに、濱田陽介会長(1期生)より日頃の同窓会運営へのご理解ご協力に対し、謝辞が述べられました。続いて、来賓を代表して学校法人金城学園 加藤真一理事長よりご挨拶をいただいたあと、先の役員会で審議・承認された事項について濱田陽介会長より報告が行われました。

その後、パーティーへと移り、金城大学 半谷静雄学長よりご挨拶、学校法人金城学園 加藤晃



加藤晃学園長による乾杯の発声



濱田陽介会長



交流パーティー(ビンゴ大会)の様子

学園長より乾杯のご発声をいただき、和やかな雰囲気で行進されました。今回は演出料理なども盛り込んだビュッフェ形式で行われ、旧友や恩師たちとの会話が花が咲き、楽しいひと時を過ごしました。また途中には、豪華景品が当たる趣向を凝らしたビンゴ大会が行われ、大いに盛り上がりしました。

最後に、記念として集合写真を撮影し、盛会のうちに終了しました。

ご多用の中にご出席いただいた皆様、誠にありがとうございました。

平成27年度役員

会 長 会計監事	濱田 陽介 (1期生)	副 会 長	中野 雄介 (1期生)	河合 直人 (8期生)	
	上田 良和 (1期生)	園谷 準 (1期生)			
委 員	内島 一憲 (1期生)	今村 裕子 (1期生)	紺 昇平 (1期生)	赤津 慎太郎(2期生)	久田 緑 (2期生)
	寺井 紀裕 (2期生)	川口 雄幸 (3期生)	川嶋 玲子 (3期生)	田中 宏治 (3期生)	七野 澄麗 (3期生)
	山下 和恵 (3期生)	安土 貴子 (4期生)	今田 志未 (4期生)	林 裕也 (4期生)	赤木 由未子(4期生)
	庄田 紋子 (4期生)	清水 敦子 (4期生)	岩城 涼子 (5期生)	山崎 舞 (5期生)	越村 知恵 (5期生)
	高橋 里枝 (5期生)	松下 早希 (5期生)	池上 実希 (5期生)	辰田 沙弥香(5期生)	花井 友美 (6期生)
	稲葉 文香 (6期生)	大久保 朋美(6期生)	早崎 久穂 (6期生)	高橋 孝明 (6期生)	西村 仁美 (6期生)
	坂本 千夏子(6期生)	西野 友希 (7期生)	土田 行美 (7期生)	成川 千絵 (7期生)	西川 美香 (7期生)
	鷹合 いつか(7期生)	澤田 竜之介(8期生)	西谷 彰紘 (8期生)	青木 由依 (8期生)	竹田 圭佑 (8期生)
	鷺田 恵 (8期生)	岩田 めぐみ(9期生)	北村 允人 (9期生)	劔村 祐依 (9期生)	藤川 彩 (9期生)
	中佐 武尊 (9期生)	濱 星美 (9期生)	藤川 諒也 (9期生)	田中 貴大 (10期生)	前田 静香 (10期生)
	廣岡 恵莉香(10期生)	岩上 倫太郎(10期生)	坂 千晶 (10期生)	池田 光次郎(11期生)	櫛引 敏裕 (11期生)
	谷内 奈津美(11期生)	三平 拓矢 (11期生)	村澤 卓朗 (11期生)	椎木 祐希 (12期生)	山本 有佳里(12期生)
	柏木 久夏 (12期生)	墨谷 沙紀 (12期生)	和田 卓也 (12期生)		

幹 事 岡村 綾子、斎藤 修啓、野口 雅弘、武田 陽子、久野 光広、松山 哲也、竹内 明美

各方面で活躍する同窓生

「退院した患者さんの笑顔が 次のモチベーションに」

私は現在、理学療法士として富山県にある「氷見市民病院」のリハビリテーション部に勤めています。2年目ということで慣れてはきましたが、まだまだ技術や知識が足りないと感じています。当院のリハビリテーション部は急性期、回復期、維持期すべての患者さんに対応しているのが特徴で、私は回復期の患者さんに理学療法を行っています。

そもそも、理学療法士を目指そうと思ったきっかけは、高校時代に所属していたサッカー部の練習で手を骨折してしまい、整形外科に入院したことでした。その待合室でリハビリをしている患者さんを見て初めて興味を持ったのですが、当時はどのような職種があるのかさえ知りませんでした。



小林 拓矢さん【金沢医科大学氷見市民病院勤務】
医療健康学部 平成25年度卒業 11期生



金城大学では、テスト前や国家試験前にゼミで勉強したり、同級生たちと教え合ったりすることが思い出深いです。また、臨床実習前に自分たちの知識を出し合い、みんなで学びを共有しながら「理学療法士」という同じ目標に向かって進んでいくことが、いい思い出になっています。

昨年、日本理学療法学会大会で、大学時代に行った卒業研究について発表する機会をいただきました。また、富山県の理学療法学会では、私が担当した患者さんの退院後の状況を調査した結果を発表させていただきました。臨床に出てみると大学時代にもっと勉強しておくべきだったと痛感しつつ、リハビリの技術や知識について先輩方に教えていただいたり、自問自答を繰り返しているところです。

回復期から維持期に移った患者さんから、ありがたの言葉をいただいたり、院内で挨拶されたりするだけでうれしくなります。患者さんが入院中に獲得したADL（日常生活動作）をうまく維持していることがわかるとモチベーションも上がります。これからも、いろいろな症例について経験を重ねながら、信頼される理学療法士に成長していきたいです。

介護現場で関わりをを広げ 地域コミュニティに貢献



帰山 慎吾さん
【社会福祉法人城端敬寿会 介護老人保健施設 城端うらら勤務】
社会福祉学部 平成25年度卒業 11期生

私が福祉の道を志したのは、ケアマネージャーをしている母の背中を見ていて、ぼんやりと福祉で何かやってみたいと思ったからです。金城大学での4年間を振り返って真っ先に思い出すのは、やはり介護実習のこと。職員でもお客さんでもない「実習生」という立場で、それまでに体験したことのない情報の質と量に触れて、その環境に順応するだけでも大変でした。その分、実り多い経験ができましたし、自分の中で大きな転換点になったと思います。

「城端うらら」では、明るく温かい雰囲気、利用者さんが自宅のように過ごせる空間づくりを心掛けています。当施設にケアワーカーとして勤務して2年目。2交代制で利用者さんの寝起

きや車いすへの移乗、食事、排泄、入浴などの介助に当たっています。認知症の方の場合、コミュニケーションがうまくいかないことも多々あります。それでも、「帰山さん、〇〇してくれる？」と頼まれたりすると、その方の生活というかコミュニケーションの輪の中に入れたのかなと、うれしさとやりがいを感じます。

時には、利用者さんから怒られたり、怒鳴られたりすることもあり、そんなときは気持ちが折れてしまいがちです。でも、利用者さんからすれば、自宅とは違う環境の中で、よく知らない人が踏み込んでくるわけですから、仕方がないと思います。そして、どうやって入り込もうかと考え直すのです。こちらのやり方を押し付けるのではなく、その人の生活の中に福祉がある。金城大学で学んだ理念の実践です。

介護老人保健施設ということで、ご家族の方とのコミュニケーションも重要です。利用者さんやご家族のニーズに全て応えられるわけではありませんが、地域の病院や他の施設との連携を図りながら、介護の現場からコミュニティの福祉に貢献していきたいと考えています。



同窓会 開催報告



**平成27年度 医療健康学部
卒業研修会及び懇親会 報告**

平成27年9月26日(土)金城大学卒業研修WGの活動として、毎年秋に医療健康学部の卒業生を対象に開催されている、知識の向上を目的とした研修会と、卒業生間で交流を深めることを目的とした懇親会が開催されました。

研修会は金城大学准教授、永井将太先生を講師に迎え『脳卒中リハビリテーションの今～State of art 今私たちにできること』というテーマで行われ、最新のエビデンスに基づく講義をしていただきました。

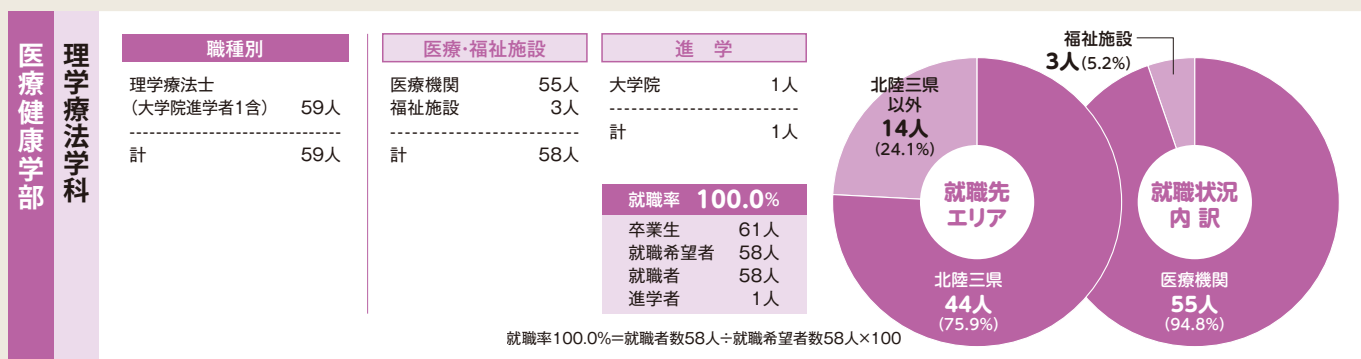
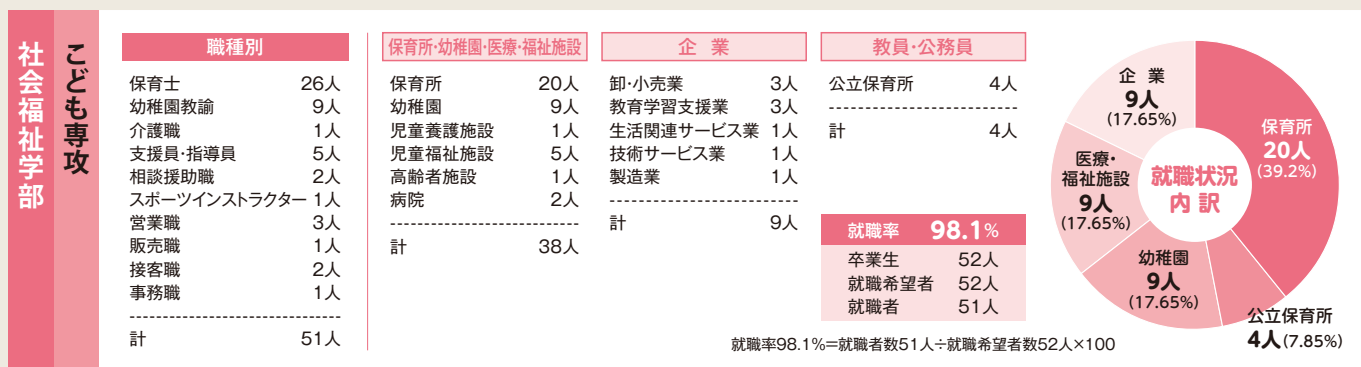
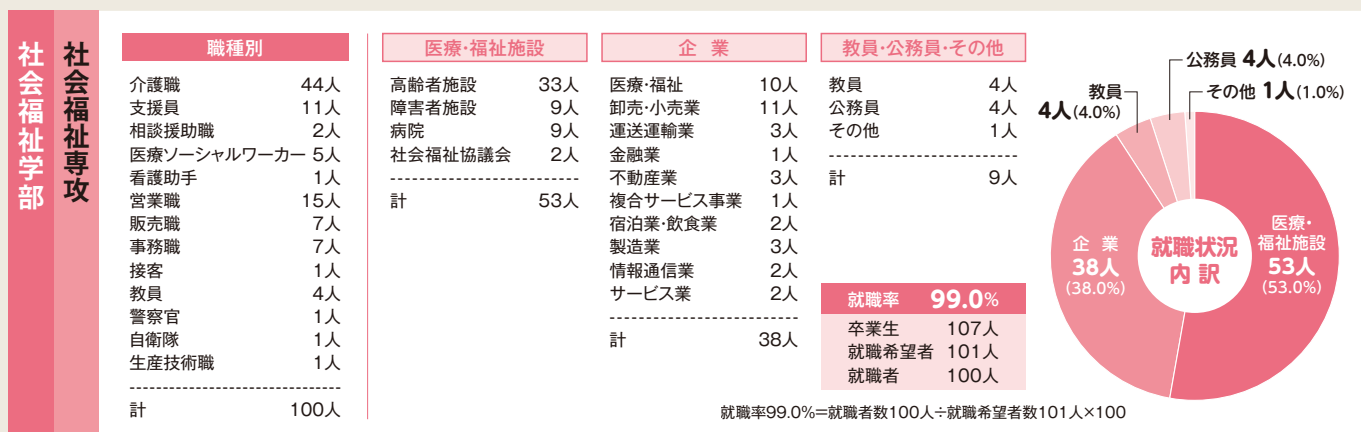
研修会後の懇親会は「日本海庄や」にて行われ、卒業生の上下のつながりを強め、教員との交流も図られました。

同窓生活動報告の募集

同窓生の皆様におかれましては、各方面でご活躍のことと思います。その中で、「同窓会を開催しました」「同じサークルだった仲間と久々に集まりました」など、同窓生の近況報告を募集しています。是非、同窓会会報誌でも活動の様態を掲載させていただきたいと思っておりますので、お気軽に情報をお寄せください。

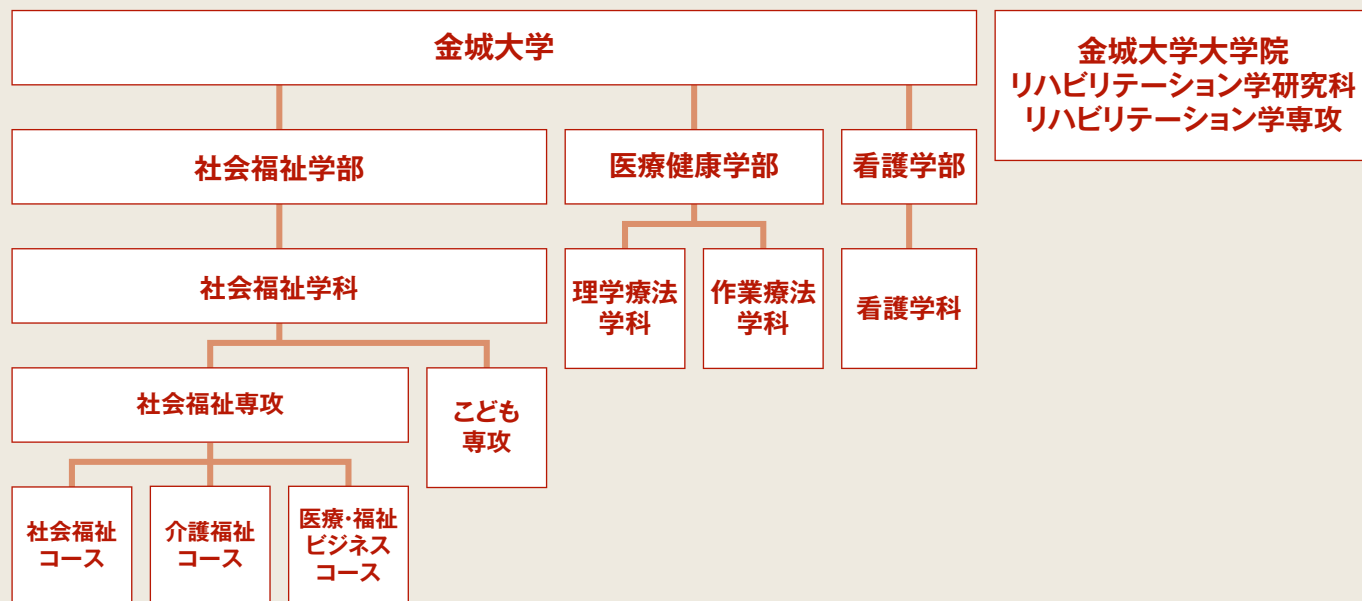
平成26年度卒業生の進路結果

(平成27年5月1日現在)



※医療健康学部 作業療法学科は平成25年度開設のため卒業生なし

平成27年度 金城大学 学部・学科構成図 一覧



金城学園の建学の精神・金城大学の設立の理念など

金城学園	建学の精神	遊学の精神の涵養 何ものにもとらわれず、自由に広く世の中を見聞し、人格を高め磨いていくこと。 良妻賢母の育成 家庭における女性の役割の重要性にかんがみ、周りの人々がより良く幸せに生きるために支えとなる人材を育成すること。	教育理念	創始者：加藤廣吉・せむ 率先垂範、質素勤勉 二代目：加藤二郎 教育とは 云うてきかす事ではない。して見せる事でもない。している事である。 三代目：加藤晃 教育とは先生と学生の全人格のぶつかり合いの中から生まれてくる学生への影響、それも何らかのよい影響である。
	設立の理念	明日の福祉社会を先導する福祉のリーダー的存在の養成	目的及び使命	教育基本法・学校教育法の精神に則り、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的および応用的能力を養い、文化の向上および社会の福祉に寄与する人材を育成することを目的とする。(学則第1条)

平成26年度 金城学園 財務概要

消費収支計算書

(単位:千円)

消費収入の部	
科 目	金 額
学生生徒等納付金	2,393,921
補助金	801,189
その他	229,565
基本金組入額	-558,598
消費収入の部(合計)	2,866,077
消費支出の部	
科 目	金 額
人件費	2,128,418
教育研究経費	782,504
管理経費	435,852
その他	30,912
消費支出の部(合計)	3,377,686
当年度消費支出超過額	511,609

貸借対照表

(単位:千円)

資産の部	
科 目	金 額
固定資産	9,893,171
有形固定資産	9,433,347
その他の固定資産	459,824
流動資産	2,424,121
資産の部(合計)	12,317,292
負債・基本金・消費収支差額の部	
科 目	金 額
固定負債	1,629,086
流動負債	1,045,975
基本金	12,963,120
消費収支差額	-3,320,889
負債・基本金・消費収支差額の部(合計)	12,317,292

※ 詳しくは、金城学園ホームページ (<http://www.kinjo.ac.jp/>) をご覧ください。

大学行事報告

平成26年度卒業証書・学位記授与式 平成27年3月18日



平成27年3月18日(水)に第12回卒業証書・学位記授与式が白山市松任文化会館にて挙行されました。社会福祉学部卒業生159人、医療健康学部の卒業生61人が学び舎を後にし、社会に向けて新たな一歩を踏み出しました。

式では、加藤真一理事長が告辞を述べ、半谷静雄学長が「失敗を恐れず、常に楽観主義でことにあたれば必ず道は開ける」と式辞を述べました。続いて、祝辞が披露され、最後に、卒業生を代表して、宮森拓真さんが答辞を述べました。

同日、会場を金沢東急ホテルに移し、卒業パーティーが盛大に行われました。

平成27年度入学式

平成27年4月1日

4月1日(水)に、第16回入学式が白山市松任文化会館にて挙行され、新設の大学院リハビリテーション学研究科5人、看護学部93人、既設の社会福祉学部141人(うち編入学生5人)、医療健康学部116人の総計355人が入学し、大学生活の新たなスタートを切りました。



加藤真一理事長が告辞、半谷静雄学長が「初心を忘れず謙虚な気持ちで勉学に励んでほしい」と式辞を述べ、続いて祝辞が披露されました。最後に、新入生を代表し、看護学部の佐藤星名さんが「第1期生としての誇りを持ち、同じ夢を持つ仲間と共に有意義な学生生活を送りたい」と抱負を述べました。式には、多くのご来賓、保護者の皆様にご臨席賜りました。

新入生歓迎会

平成27年4月4日



4月4日(土)に新入生歓迎会が開催されました。学友会長が新入生に対して歓迎の挨拶を行い、ダンス部による歓迎公演、クラブ・同好会紹介、学内施設の見学を目的としたウォークラリー、豪華景品を用意したビンゴ大会を行いました。当日は、例年に比べ参加者が多く盛大に開催することができました。新入生については、先輩と交流ができたことで不安が和らぎ充実した一日となりました。

新入生合宿研修

平成27年4月17日～19日

いこいの村能登半島にて4月17日(金)～18日(土)と18日(土)～19日(日)の2班体制で新入生合宿研修が行われました。今年は新たに看護学部の学生が加わり3学部の学生が、社会に出るための必要なマナーを身につけ、大学生としての自覚と計画を持ち、学生間の交流を図ることを目的とし、交通安全についての講習やスポーツ大会、マナー講座等の研修や交流を行いました。今回の合宿研修を通じて学生間の交流を深め、福祉・医療・看護それぞれの分野で学ぶための第一歩を踏み出すことができました。



クラブ・同好会代表者研修会

平成27年5月23日

5月23日(土)に、各団体の代表者を対象としたクラブ・同好会代表者研修会が開催されました。クラブ活動支援費申請や活動報告等の書類作成方法についての説明が行われた後に、参加者全員で加賀笠間駅から本学までの通学路の清掃を行いました。また、昼食を取りながらクラブ・同好会の活性化及び、活動に関して工夫している点についての意見交換を行いました。それぞれの団体で抱える活動に関する問題について話し合えたことでより一層絆を深めることができました。

卒業研究発表会

医療健康学部平成27年10月10日
社会福祉学部平成27年12月～28年2月

10月10日(土)に、金城大学医療健康学部 卒業研究発表会が開催されました。理学療法学科4年生66人が、3年生時よりゼミ教員の指導・支援を受けながら取り組んできた卒業研究の成果を発表する集大成の発表会です。



学生たちはパワーポイントをj用いて、自分の研究成果について自分なりの言葉で説明し、質疑応答では発表で伝えきれなかった内容を相手に分かりやすく伝えるように努力する様子も見られました。発表後の質疑応答では、教員からの助言や在学生からの質問などがありました。また、今年度から作業療法学科3年生も初参加し、作業療法の視点からの鋭い質問も見られました。そして、来年度はいよいよ2学科での開催となります。

卒業研究発表会では、一昨年度から優秀発表者の選出が始まりました。優秀発表者は教員と学生の投票で選出され、卒業式で表彰される予定です。

社会福祉学部は、12月から2月にかけて各ゼミで卒業研究発表会を行います。

第40回金城祭

平成27年10月24日～25日



今年度は、「Happy 40(Forty)ring(輪)」なでつなげよう幸せの輪」をテーマに、第40回金城祭が10月24日(土)・25日(日)に開催されました。「ダイスケ」によるゲストライブ、模擬店、ステージでの各種イベント等の企画が実施されました。両日とも多くの方に足を運んでいただき、大盛況のうちに幕を閉じることができました。

トピックス

大学院・看護学部開設

今年4月に、大学院（リハビリテーション学研究所）、看護学部看護学科が開設されました。大学院では、リハビリテーション領域のリーダーとなる高い専門性をもつ人材の養成を目指し、就業しながら学べる昼夜開講制・長期履修制度を取り入れ、社会人5人が入学しました。看護学部は松



任の中核病院に隣接する立地に新たなキャンパスを設け、自ら学ぶ少人数教育に最適な環境が整備され、93人の一期生が入学しました。

金城学園110周年記念式典・祝賀会



金城学園は、7月4日、創立110周年記念式典を挙行し、1500人を超える関係者が110年の節目を祝いました。

午前、会場となった石川県立音楽堂では、開式に先立ち、金沢に本拠を置き日本で最初の常設プロフェッショナル室内管弦楽団として広く全国に知られている「オーケストラ・アンサンブル金沢」に

よる弦楽四重奏が披露されました。記念式典のはじめに、加藤真一理事長が、1904（明治

37）年に加藤廣吉・せむ夫妻によって創設された金城遊学館を淵源とする学園の建学の精神・遊学の精神の涵養と良妻賢母の育成、に基づく110年に及ぶ教育実践を振り返り、今後も、建学の精神を継承発展させ、時代の要請に応える学園の創出に努める旨の式辞を述べた後、文部科学省義本博司大臣官房審議官（高等教育担当）、谷本正憲石川県知事（代読：黒野嘉之総務部長）及び山田憲昭白山市長から祝辞が寄せられました。

当日の17時からは、金城大学大学院リハビリテーション学研究科及び看護学部開設並びに加藤晃学園長回顧録出版記念を兼ねた祝賀会を金沢市内のホテルで開催しました。学内外から270人が参集した祝賀会は、金沢工業大学学園長・総長で日本私立大学協会副会長の黒田壽二氏が乾杯の音頭を務め、東京五輪・パラリンピック大会組織委員会会長として大会成功に向けて東奔西走中の森喜朗元内閣総理大臣をはじめ、県選出の全国会議員のほか、石川県副知事、白山市長、野々市市長、県議会・市議会議員が来賓として出席して祝辞を述べました。

なお当日午後、義本博司大臣官房審議官（高等教育担当）を講師に迎えて、「未来を担う学生への期待（これからの大学教育を展望して）」と題した創立110周年記念特別講演会も開催し、金城大学及び同短大部の学生約300人が聴講しました。

公開講座



5月9日から10月17日（各土曜日、全20講座）にかけ、今年度も短期大学部との共同事業として「金城大学公開講座」を開催しました。大学・短期大学の教員による高齢化社会に対応した講座や外部講師による体験講座などが行われ、地域の方々を中心に、多くの方が聴講されています。なお、平成28年度も実施を計画していますので、大学・短期大学部ホームページ等をご覧の上、是非ご参加ください。

北國健康生きがい支援事業

北國新聞社との共催で、一般の方を対象とした「看護講演会」「社会福祉講演会」が、北國新聞会館（金沢市）にて開催されました。今年度は7月25日（土）に、看護学部・永山くに子教授による「新しい家族を迎える人々と向かい合った助産師の40年」、9月5日（土）には、社会福祉学部・黒田しづえ教授による「ケアのルーツから学ぶ介護のヒント」をテーマに開催し、多くの聴講者がありました。



ゆうがく広場／悠遊健康サークル



今年度も介護福祉コースによる地域の高齢者の方々との交流を通じたアクティビティ活動として「ゆうがく広場」を、また、医療健康学部による白山市と本学が連携した地域在住高齢者を対象としたマシントレーニング、健康体操などを本学学生と交流しながら行う健康維持・改善講座事業として「悠遊健康サークル」をそれぞれ実施し、地域の方々からまたいへんご好評をいただいています。活動状況等の詳細については、大学ホームページにも掲載されていますのでご覧ください。

研究・教育活動報告



第10回保健・医療・福祉創造フォーラム

11月28日(土)に第10回保健・医療・福祉創造フォーラムが本学にて開催され、保健・医療・福祉施設の職員、一般の方、学生などが参加しました。大会テーマを「切れない包括的な支援」とし、金川克子氏(NPO法人いしかわ在宅支援ねつと理事長、石川県立看護大学名誉教授、金城大学特任教授)による講演「住み慣れた地域で共に暮らす人々の健康

研究活動成果報告会開催報告

本学教員を対象に、学内競争的資金として交付される特別研究費・国外研究費に採択された研究活動について、10月24日～10月25日の期間で実施された活動成果報告会(ポスター発表)の発表者は次の通りです。

- ① 神谷晃央講師(医療健康学部)
「しやがみ込み動作に対する運動療法効果の検討—Kaltenborn-Evjenth Conceptに元づく包括的プログラムの有効性—」
- ② 小島聖講師(医療健康学部)
「拘縮予防を目的とした寒冷浴の効果—ラット膝関節の可動域と関節軟骨の病理組織学的検討—」
- ③ 越納美和助手(看護学部)
「地方自治体と大学の連携による健康教室の効果」
- ④ 佐々木賢太郎准教授(医療健康学部)
「運動中の呼吸数を計測する簡易装置の開発」

を考える」教育、NPOの立ち上げ、家族としての体験から」が行われました。講演後にはシンポジウム「白山市における切れ目のない包括的支援をデザインする」が開かれ、専門家を招き、それぞれの立場における現状や展望などを提示し、専門性の高い情報・意見交換の場となりました。



- ⑤ 田中克恵准教授(社会福祉学部)
「特別養護老人ホームにおける終末期ケアの主観的評価『より良い事例』と『心残り事例』の要素の比較」
- ⑥ 野口雅弘講師(医療健康学部)
「若年者におけるベッド上仰臥位エルゴメータ運動と座位エルゴメータ運動の呼吸循環応答」
- ⑦ 渡辺豊明講師(医療健康学部)
「骨盤の傾斜角度の違いによる座骨部の座圧変化」

科学研究費助成事業採択状況

文部科学省及び独立行政法人日本学術振興会による科学研究費助成事業は、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、豊かな社会発展の基盤となる独創的・先駆的な研究に対する競争的研究費(助成制度)です。平成27年度の採択・交付者は次の通りです。

- ① 木林勉教授(医療健康学部)【研究代表者】
「大学生と高齢者が協同学修で開発する介護予防支援者養成教育プログラム」
- ② 永井将太准教授(医療健康学部)【研究代表者】
「理学・作業療法士の臨床実習における学生支援のためのeポートフォリオの開発と検証」
- ③ 樋貝繁香教授(看護学部)【研究代表者】
「早産児の脳神経の発達促進を支える家族への睡眠教育プログラムの開発」

退職教職員のご案内

社会福祉学部の木谷尚美准教授、事務職員の丹後裕法人本部事務室参事、鍛治充夫さん(管財部)、大岡秀子さん(学生部)、渡部宏一朗さん(入試広報部)、佐藤優美さん(企画部)、大岡章さん(法人本部)の7人が3月末で退職されました。また、事務職員の濱崎ちひろさん(実習センター)が2月末で退職されました。

- ④ 川邊弘之教授(社会福祉学部)【研究代表者】
「視野障害学生のためのHMDシステムの研究—視線移動を考慮した健常者視野の提供—」
- ⑤ 佐々木賢太郎准教授(医療健康学部)【研究代表者】
「転倒要因としての固有感覚の検証」
- ⑥ 下村有子教授(社会福祉学部)【研究代表者】
「夜盲などの光感受性が低下した学生のための暗視カメラを用いた支援システムの開発」
- ⑦ 小島聖講師(医療健康学部)【研究代表者】
「理学療法的治療が関節拘縮の進行予防と回復に及ぼす病理組織学的影響」
- ⑧ 元村智明准教授(社会福祉学部)【研究分担者】
「研究代表者／関西学院大学・人間福祉学部 室田保夫教授」
- ⑨ 下田裕子講師(看護学部)【研究分担者】
「研究代表者／富山大学・大学院医学薬学研究部 新鞍眞理子准教授」
- ⑩ 越納美和助手(看護学部)【研究分担者】
「研究代表者／金城大学・医療健康学部 木林勉教授」
- ⑪ 瀬戸就一教授(ビジネス実務学科)【研究代表者】
「360度カメラを用いた聴覚障害学生のアクティブラーニング参加支援システムの開発」

卒業後の証明書交付について

卒業後に発行可能な証明書

卒業後、本学にて発行可能な証明書は下記の通りです。

名称	手数料／1部	備考
卒業証明書	100円	
学業成績証明書	200円	
社会福祉主事任用資格単位修得証明書	200円	
卒業証明書・社会福祉士指定科目履修証明書(*1)	200円	社会福祉士の国家試験受験専用
教員免許申請用学力に関する証明書	200円	申請免許種ごとに必要(申請時に免許種類を明記のこと)

*単位修得証明書は任用資格取得に必要な科目の単位の修得したことを証明するものです。
*左記以外のものは申し込み前に、教務部までお問い合わせください。
(*1) 社会福祉士の国家試験を受験しなかった方が、国家試験を受験する場合に必要。一度受験した方は受験票のコピーなどで再受験が可能ですので受験時にこの証明書は必要ありません。

申し込みについて

原則として、申し込みは郵送または窓口のみの取扱いとなります。

a) 郵送の場合

下記のものを大学事務局《申し込み先》宛に送付してください。

- 1 証明書手数料分の切手。
- 2 送付先郵便番号・住所・宛名を明記した返信用定形外封筒(角形2号)。
*定形外郵便料金+簡易書留分310円、郵送料分切手を貼付け済み。
速達希望ならば+280円。
- 3 右記《記入必要事項》を記載した便箋等。

b) 窓口の場合

窓口で証明書の申請、または、受取る場合は名前と生年月日が分かるもの(免許証等)を持参の上、所定の申請用紙に必要事項を記入の上、代金をあわせてお支払いください。身分証を提示できない方からの申請は受け付けることが出来ません。

《記入必要事項》

- 1.氏名・生年月日
- 2.入学及び卒業の年月
- 3.学籍番号(わかれば記載願います。)
- 4.請求証明書名と必要部数
- 5.提出先(必要部数毎に明記してください。)
- 6.必要理由(理由によって様式が異なる場合があります。)
- 7.連絡先(昼間連絡可能な電話番号。)

《申し込み先》

〒924-8511 石川県白山市笠間町1200
金城大学 教学支援部 Tel:076-225-3446(直通)

*a) 記載事項に不備のあるものについては、受け付けることが出来ませんので、ご了承ください。

受取りについて

受け取りは郵送または窓口のみの取扱いとなります。

a) 郵送の場合

郵便での申込の際は必ず、返信用封筒に定形外封筒を使用し、右記のとおり定形外郵便料金と簡易書留分(310円分)の切手を返信用封筒に貼付してください。

例:証明書3通までの場合、返信用封筒には定形外郵便料金120円と簡易書留料金310円分の切手、合計430円分の切手を貼ってください。

原則として、繁忙期及び特殊なものを除き、到着後3日以内に発送します。

また、お急ぎの場合は往復とも速達(+280円)にしてください。

b) 窓口の場合

直接取りに来られる場合には、発行を確認の上、来学してください。なお、その場合は身分証(免許証など)を必ず持参してください。代理受領の場合も本人が事前連絡の上、代理人が身分を証明できるものを持参してください。

《返信用定形外封筒の郵送料金(参考)》

申込数	簡易書留 (定形外郵便料金+310円)	速達郵便 (+280円)
証明書3通まで	430円	710円
証明書5通まで	450円	730円
証明書7通まで	515円	795円

*上記料金は2014.4.1以降のものです。
*郵便料金についてはあくまで目安の料金です。
不足が生じた場合は、後日請求させていただきます。

注意事項

- 原則作成までに3日(土日、祝日は除く)かかりますので、できるだけ余裕を持って申し込みください。
- 原則到着後3日(土日、祝日は除く)で発送します。お急ぎの場合は、申し込み・返信用とも速達分の切手を貼ってお送りください。
- 電話やFAX、電子メールでの申し込みや研究室等への依頼は受け付けません。
- 進学用の調査書については、別途お問い合わせください。
- 大学院受験用調査書や英文証明書等特別に作成を要するものは、2週間以上の余裕をもって申し込んでください。
- 英文証明書を請求する場合は、氏名のローマ字綴り(「日本国旅券」等公的証明書に登録したもの)を必ず書き添えてください。
- 証明書は在学当時の姓名で作成しますので、改姓された方は必要に応じて、戸籍抄本や市区町村の証明書等を先方へ併せて提出してください。

卒業生の施設利用



図書館

卒業生も図書館所蔵資料の閲覧・複写・貸出ができます。(貸出期間の延長はできません)
《貸出冊数》3冊 《貸出期間》2週間(雑誌は除く)
※必ず事前に図書館(直通:076-276-4412)までご連絡ください。その際、卒業年度・学籍番号・学科・名前をお知らせください。
※利用の際は現住所等を確認できるもの(免許証など)を持参し、カウンターに申し出てください。
※利用日・時間は在生学生と同様です。

小講義室・演習室等

卒業生が勉強会(自主ゼミ・研究会)を実施できる環境(場所)整備として、平日夜、土曜日などに小講義室・演習室等を使用することができます。なお、実際の使用に係る手続き等の詳細については、同窓会ホームページをご参照ください。

同窓会会員の皆様へ

この度、同窓会会報誌第9号を発刊いたしました。ご一読いただければ幸いです。
同窓会事務局では、同窓会員の名簿の整備を行っています。行事のお知らせ、会報誌の送付など、同窓会運営に役立てています。
住所や氏名が変更になった方は、同窓会事務局(※下記参照)までご連絡くださいますようお願いいたします。
ご連絡いただいた個人情報につきましては、同窓会の運営および同窓生への支援以外の目的では使用いたしません。
ただ、交流パーティーへの参加を呼びかけていただくため、役員に同期の方の連絡先をお伝えすることがありますので、ご了承ください。
今後とも、同窓会の活動にますますのご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

大学案内・入学試験に関するお問い合わせ

《入試広報部》

フリーダイヤル	0120-276-150
TEL	076-276-5175(直通)
FAX	076-275-4316
E-mail	nyushi@kinjo.ac.jp